

第2章 HTML入門

<body>タグ内に記述するタグの種類



を押しながらクリックすると別ウィンドウでYouTubeがみれる

[CTRL]キー

HTML要素(終了タグのあるタグ)

| 要素名 | 概要 |
|--------|--|
| h1 | 見出しを定義します。h1～h6まであり、h1が最も高レベル、h6が最も低レベルな見出しです。 例：<h1>見出し</h1> |
| p | 文章の段落を定義します。 例：<p> 文章の段落を定義します。 </p> |
| div | 特に意味を持たないタグです。複数のタグをまとめて扱うときや、四角い枠を描画したいときに使います。 例：<div> <h1>見出し</h1> <p>段落</p> </div> |
| a | リンクを定義します。 href属性・・・リンク先のURLを指定します。 例：TOPへ |
| button | ボタンを定義します。 例：<button>ボタン</button> |

空要素（終了タグのないタグ）

| 要素名 | 概要 |
|-----|--|
| img | <p>画像を参照します。</p> <p>src属性：画像の参照先を指定します。</p> <p>alt属性：画像が何らかの理由で表示できなかった場合に、画像の変わりに表示する文字列を指定します。</p> <p>例：</p> |

すべての要素につけられる属性

| 属性名 | 概要 |
|-------|--|
| id | 要素を識別するためのIDです。文書内で重複する値を指定することはできません。 例：<div id="header">…</div> |
| class | CSSのクラス名を指定します。（→第3章） 例：<div class="container">…</div> |

第2章 HTML入門

リンク

リンクの設定

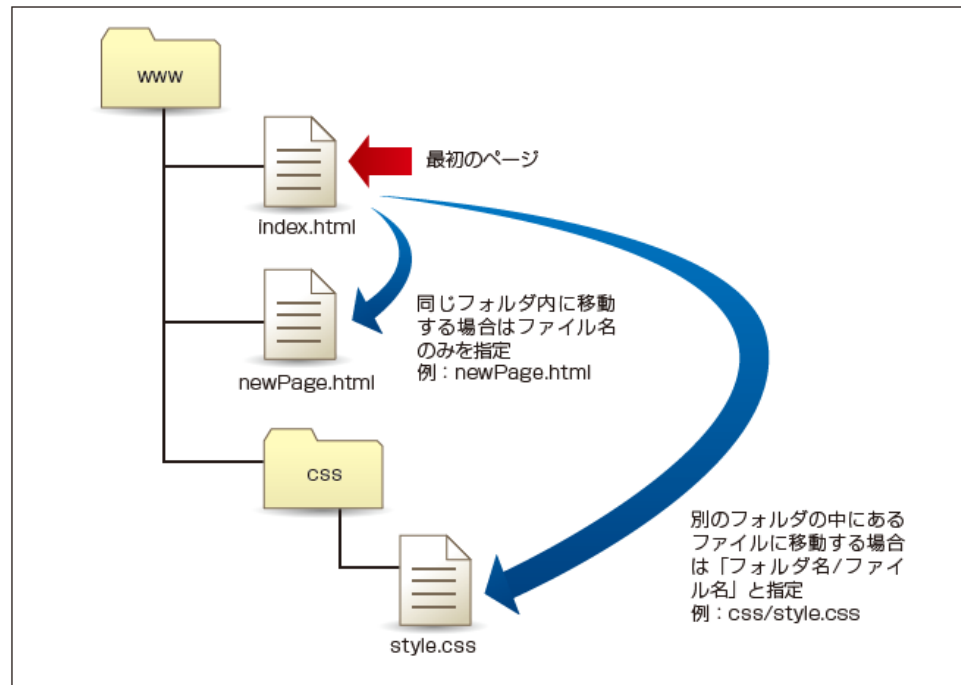
- aタグを使用し、リンク先はパスをhref属性の値で指定します。
- 絶対パス指定
 - └ パスを全て記述する方法です。
- 相対パス指定
 - └ 現在のファイルからの相対的なパスを記述する方法です。

文法 リンクの設定

```
<a href="リンク先のパス">リンク文字列</a>
```

相対パス指定

- 対象ファイルまでの位置を相対的に指定する方法です。
 - └ 下位のフォルダを指定するときは「/」を使用します。
 - └ 上位のフォルダを指定するときは「../」と「/」を使用します。



第2章 HTML入門

実習①

実習

- リンクをbody要素の中に記述します。

```
<body>  
  <a href="https://edu.monaca.io/">Monacaへ</a>  
</body>
```

実行結果



※リンク先によってはプレビュー機能で動かない場合があります。
フレームでの表示を禁止しているサイトはプレビューでは開けないため、Web公開機能もしくはデバッガーアプリで確認して下さい。

準備

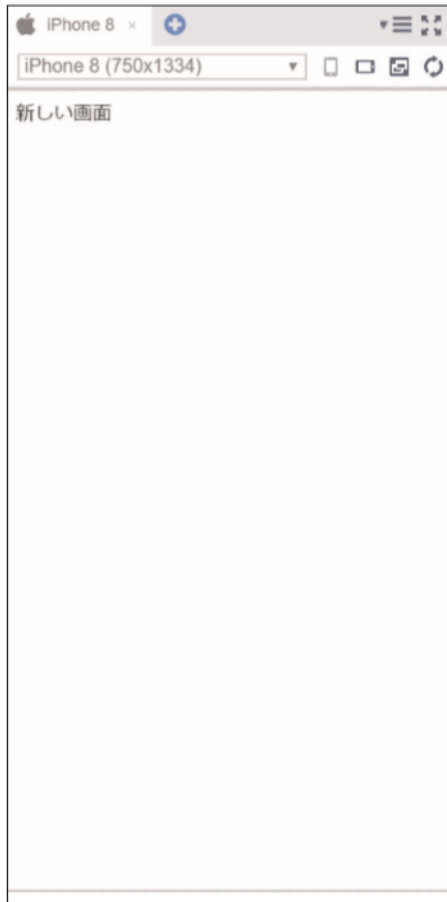
- 別ファイル「newPage.html」を確認します。

実習

- 相対パスのリンクを追記して下さい。

```
<body>  
  <a href="https://edu.monaca.io/">Monacaへ</a>  
  <a href="newPage.html">次の画面へ</a>  
</body>
```

実行結果



第2章 HTML入門

画像の表示

画像を表示する方法

- `img`タグを記述します。
- `img`タグの`src`属性でパスを指定します。

文法 画像の表示

```

```

例 `img`タグの記述例

```

```

第2章 HTML入門

実習②

準備

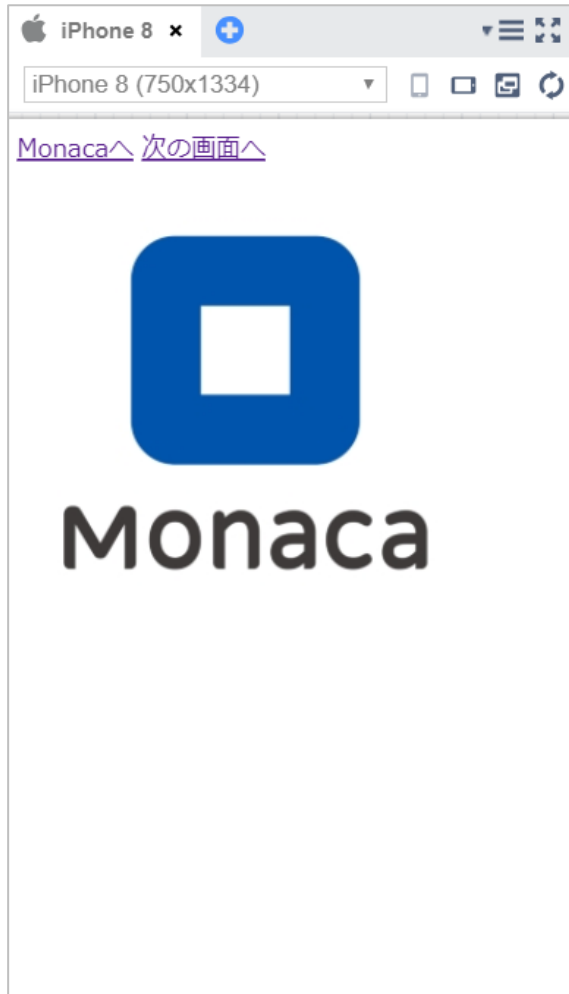
- 画像ファイル「monaca.jpg」を確認します。

実習

- imgタグを追記して下さい。

```
<body>
  <a href="https://edu.monaca.io/">Monacaへ</a>
  <a href="newPage.html">次の画面へ</a>
  
</body>
```


実行結果



自分が好きなサイトを紹介するページを作成してください。
画像をタグで配置したり、<a>タグを使って好きなサイトへリンクを追加してみましょう。

※<a>タグに使用するパスは絶対パスを使用しましょう。

入力できたら、メニューバーの保存ボタンを押してください。
保存されたら、「Web公開」して発行されたURLを進捗シートにコピーペーストしてください。